

防災



東浦防災ネット
川井 美秋代表 新谷 昭代副代表
田中 徳雄副代表

主な活動は？
小中学校の防災学習や企業向けの防災講話のほか、外国人向けや地域の防災訓練に関わっています。

活動を始めたきっかけは？
平成12年に起きた東海豪雨で復興ボランティアの会が必要だと思いました。わたしたちのまちはわたしたちで守りたいという思いから始めました。

東浦町にどんな影響を与えたい？
住民の皆さんの防災意識の向上に寄与できていると思います。これから特に子どもの防災学習を通して、大人や若者の防災への関心も高まっていて欲しいです。



文化 歴史



東浦ふるさとガイド協会
伴 紘久会長

主な活動は？
地域の文化や歴史を説明しながらまわる「ふるさと散歩」や、依頼ガイド・学校・福祉施設などに向けて歴史の話をする「出前講座」などを行っています。

活動を始めたきっかけは？
東浦町にはあまり知られていない文化や歴史が実は豊富にあるということや、その魅力を住民の皆さんに知ってもらいたいという思いから始めました。

東浦町にどんな影響を与えたい？
少しずつではありますが、住民の皆さんに東浦町の文化や歴史への興味関心が広まりつつあると感じています。もっと多くの人に東浦町の文化や歴史を知ってもらい、町に愛着を持ち、将来に渡って伝えていけたらと思います。



環境



東浦自然環境学習の森 保全・育成の会
下玉利 ゆう子副会長

主な活動は？
4つの部会(竹林・水辺・生きもの・竹灯籠)があり、色々な人が集まって保全活動を行い、稲作や竹炭作りなど、自分たちができることに取り組んでいます。

活動を始めたきっかけは？
親戚の家が田舎にあり、子どもの頃にそこで遊んだことが楽しかったんです。その懐かしさから、東浦の里山を昔の森や風景に近付けたい、田舎体験を今の子どもたちにも体験して欲しい、という思いから始めました。

東浦町にどんな影響を与えたい？
自然環境学習の森の良さをもっとPRして、里山の手入れやイベントにも楽しんで参加してもらいたいです。子どもに体験させることは、「みんな(地域)で子育て」につながっています。みんなで里山づくりしてみませんか？



子育て



託児ボランティア おひさま
友永 涼子氏 鍋島 美奈子代表
加塚 みどり氏

主な活動は？
講座や子育てサークル活動時の託児を行っています。

活動を始めたきっかけは？
社会福祉協議会の子ども関係の講座がきっかけでボランティアグループへ発展しました。活動を始めてからは、お母さんが安心して子育てできるようにお手伝いしていきたいという思いで自分たちも楽しみながら活動しています。

東浦町にどんな影響を与えたい？
子育て中のお母さんがほんの少し子どもと離れて、自分の時間を持つお手伝いをする中で、お母さんたちがホッと笑顔になり、子育てを楽しんでいる「誰もが笑顔になれる優しいまち」にしたいと考えています。

福祉



地域のたすけあい 特定非営利活動法人 絆
山崎 紀恵子代表理事

主な活動は？
地域のたすけあいセンターとして制度のはざまを担い、様々なニーズに寄り添った活動をしていく中で、自己選択を大切にしたいサービスや365日の配食サービスなどを行っています。

活動を始めたきっかけは？
どんなに重い障がいがあっても、高齢になっても、その人がその人らしく生きていけるよう「困った時はお互いさま」の心で気軽に助け合えるまちづくりをしたいという思いから始めました。

東浦町にどんな影響を与えたい？
地域の課題を自分たちの課題として、どうしたら解決できるかという視点を持ち、地域に助け合いの輪を広めたいと思います。そのために、子育て中や定年を迎えた人でも気軽に参加できる仕組みができれば、と思っています。



多文化共生



にほんごひろば
渡辺 義昭代表

主な活動は？
東浦町に住んでいる外国人に日本語を覚えてもらい、日常生活に役立てられるように、マンツーマンでニーズに沿った学習のお手伝いをしています。

活動を始めたきっかけは？
中学生の頃に読んだアマチュア無線の本をきっかけに、外国人と友達になりたいという思いがずっとあり、この活動に関われば外国人と触れ合えると思い、始めました。

東浦町にどんな影響を与えたい？
東浦町に住んでいる外国人は1,000人以上です。言葉が分かることは色々な面でプラスになるし、生活がしやすくなります。勉強場所を増やし、日本語を勉強したい人がもっと増えるとうれしいです。



みなさんへインタビュー！
元気なひがしメンバー！

東浦には自主的に活動している団体が多くあります。どんな活動をしているのか、6つの団体にお話をいただきました。どんな思いがあったって、